

ゆうメール

9月になっても、まだまだ暑い日が続いています。真っ黒に日焼けした子どもたちが元気に登校している姿からは、「あつという間の夏休みだった！」という声が聞こえてくるようです。その一方で、多くの親御さんが「やっと長い夏休みが終わった！」とホッとしていらっしゃるのではないかと思います。

【母と子の暑い夏】

私にとって、ことのほか長く感じた夏休みは、息子が中学2年生の時でした。その頃から息子は急に口数が減り、ちょっとしたことで驚くほど怒るようになりました。いつもイライラしているように見え、私が何か言おうと言葉尻を捕らえて食ってかかるようなこともしばしば。今こうして振り返ると「わかりやすい思春期だったな・・・」と思えますが、渦中にいる時は、私も思わずカッとなり、息子と大喧嘩になったことも一度や二度ではありませんでした。

蝶に詳しい方にお聞きした話ですが、幼虫が蝶に生まれ変わるために、さなぎの中で幼虫の体はすべて破壊され、細胞が組み変わるが必要なのだそうです。人間でいうと、思春期は“さなぎ”のような時期なのかもしれませんね。心と体が大きく変化する思春期、さなぎの中で細胞が組み変わる幼虫のように、本人も初めて経験する戸惑いと混乱の中で、自分で自分をコントロールできない時もあるのでしょうか。夏休みでいつもより一緒に過ごす時間が長く、最も身近にいる母親は、整理がつかない感情を遠慮なくぶつけられる存在だったのだらうと思います。

子どもが成長していく過程には、色々な時期があるものです。親から見たら停滞どころか後退しているように見えて、やきもきすることもありますよね。

そんな時

「この子は今、人生のどんな時期にいるのだから？」

「この時期、何を学ぶことが必要なのだろうか？」

と考えてみてはいかがでしょうか？

これらの問いかけは、子どものことが心配なあまり狭くなっていた視野を広げ、これからも続いていく子どもの人生に思いを馳せた上で、目の前の子どもを見直すきっかけになるはずです。そして、親として（何もせず“ただ見守る”も含めて）どんなサポートが必要なのかを考えれば、これまでと違った答えが得られるのではないのでしょうか。

親だって人間。いつも冷静でいる必要はなく、時には本気で子どもとぶつかり合ったっていいと私は思います。それは親にしかできないことかもしれないからです。ただ、子どもは親の何倍もエネルギーがあるので、いつもぶつかり合っているのは、親の方は身も心も持ちません！上手に受け流すことも時には必要かもしれないですね。

「そういえば、最近トゲトゲしさがなくなってきたな」と感じたのは、中学3年の後半になった頃だったか、高校生になった後だったか・・・今では記憶が曖昧です。あんなに悩んだり腹が立ったりしたのに、自分でも不思議です。

大学受験を控えた息子の今年の夏休みは、勉強一色でした。そんな姿を見守りながら、「思春期は一生続かない」「混乱は変化や成長につきもの」という思いを強くした夏でした。

文責 法貴かおり



〒654-0067

神戸市須磨区離宮西町 1-2-20-104

NPO 法人マザーズサポーター協会

「NPO 法人マザーズサポーター協会ニュースレター第 29 号」をお読みいただきありがとうございました。
過去に情報提供のご希望があったみなさまに、送付させていただいています。
今後も更に内容を充実させ、育てる側に役に立つ「自立型支援方法」の情報やイベントのご案内などを発信させていただきます。

不定期の季刊紙として書籍などでは読めない情報を郵送でお届けできるように、メンバーで頑張っています。
もしご不要の場合は、お手数ですが下記のメッセージシートにお名前を明記の上「不要」とご記入いただき FAX を頂けたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

ご意見、ご感想などもいただけましたら、今後に反映していきたいと思えます。
いつでもお待ちしております。

感想

HP などに掲載させていただく場合がありますので、好きなお名前をお聞かせ下さい。

お名前

～信頼関係を作り、自立と当事者意識、考える力を育てる「自立型支援方法」～

<http://m-supporter.com>

FAX:078-731-0615

mothers@m-supporter.com

NPO 法人マザーズサポーター協会

